

清水次郎長と英語教育

先日、静岡県清水市へ行ってきた。

ちびまる子や清水エスパルス之地である。

ちびまる子の番組にもたまに登場するのが、清水次郎長親分である。

清水次郎長というと「ヤクザの親分」という印象しか持っていなかったが、実は相当すごい人である。

一部書くと、

明治維新には、駿河遠州三カ国の治安維持

官軍が咸臨丸（幕府軍）を襲撃したときの殉職者を葬り壮士の墓を建立

清水港開港に尽力

三保・日本平・富士裾野開墾

山岡鉄舟をはじめ大臣等との交流

など幾多の社会貢献を行った。

教育に関しても著名な活動がある。

明治9年（57歳）には、「これからの若い者は英語を知らなきゃダメだ」ということで、幕臣の私塾の一室を使い、近所の若者を集め、静岡学問所の若手英語教師を招いて英語塾を開設した。

塾生の中には、ハワイへ密航し、現地で成功を収めたものもいたそうです。

次郎長自身は、英語はできなかったが、時代を読むことができたようです。

